

## 意見交換の概要

- 開催日：平成28年11月23日（祝）14：00～15：30
- 会場：若松生涯学習センター
- 参加者：56名

### Q. 質問・意見

今年の4月に開設された認知症支援・介護予防センターにおける4月から10月までの期間で、どれくらいの市民が利用したのか集計結果を知りたい。  
また、認知症支援・介護予防センターの支所的なものを各区に設置してほしい。

### A. 市長等の回答

認知症支援・介護予防センターの10月末までの利用者数は、カフェ・オレンジ利用者数を主として9,306名である。

様々な団体も認知症支援・介護予防センターが利用できるということで登録されているが、登録団体の会議室や研修室の利用者数は、1,469名である。

認知症支援・介護予防センターを各区に設けることは難しいが、認知症カフェのような形で、皆さんが気軽に相談でき、情報共有ができる場所づくりは、地域に近いところで作っていくことが必要だと思っている。

現在、認知症カフェは市全体で見ると14カ所存在し、介護事業所等が設置している。

今後も認知症カフェが市全体で更に広がるように、状況把握や介護事業者に働きかけを行っている。

### Q. 質問・意見

高齢者の徘徊対策について説明していただきたい。

### A. 市長等の回答

徘徊対策については、全国的に試行錯誤が続いている。

市内では地域の各団体が協力して、既に十数カ所で捜索模擬訓練が実施された。

実際に徘徊により行方不明となった場合は、警察に通報し、警察とともに捜索を行う。このような事例は年間数件見受けられ、見つかる事例が多いが、不幸にして亡くなる事例もある。市の対応については、市内に24ある地域包括支援センターも一緒になって、個別具体的なケアや見守りを実施しており、また、いのちをつなぐネットワークという仕組みもあり、地域と市が一緒になって、捜索が必要な方については対応していく。

認知症の方に関する相談やアドバイスについては、地域包括支援センターに専門家が所属しているので、出前主義で対応する。

#### Q. 質問・意見

私はコーラスサークルで35年間活動している。コーラスサークルでの活動を生涯学習のひとつと考えている。生涯学習には、どのような効果があるか考えるか。

#### A. 市長等の回答

文化、芸術というのはジャンルが非常に幅広く、その中で、合唱・コーラスは非常に素晴らしく、多くの市民が参加している文化ということで重視している。

数ある文化団体の中でもコーラスというのは非常に多くの方が参加し、全市的に人材がたくさん育っている。そのようなことから、一つの文化の象徴的な分野として、コーラスのイベント等の予算化を行っている。

文化や芸術、生涯学習というのは、年齢に関係なく関心を持たれる方がみな集まるという意味において、地域を活性化するものと考えます。

学校を卒業すると学習の機会が減少し、社会人となり忙しい時期に青少年、学生の頃からやってきた文化のサークルというものを続けることができるようサポートすることが大事ではないかと言われている。生涯学習は文化に限ったことではないが、精一杯応援をしたい。生涯学習に参加する市民がいきいきと元気になり、その効果が大きいと期待している。生涯学習や文化活動は、地域全体を元気にする。さらに、街の誇りの醸成を促し、良い思い出も共有できる。これらは地方創生の大事なテーマだと認識している。

#### Q. 質問・意見

若松のひびきコンテナターミナルに大型クルーズ船が寄港するようになり、多くの外国人がコンテナターミナルから北九州市を訪れている。

市として今後、これらの外国人に対してどのような方針、対応を考えているのか教えていただきたい。

また、クルーズ船の中で健康診断を受ける富裕層の方もいるということで、北九州市は医療施設が発達していることから、そういった面でもPRを行えば良いのではないかと。

#### A. 市長等の回答

北九州市を訪れた外国人に市内の観光名所等を案内した際に、案内時の導線等受け入れ側として様々な勉強をした。

このような経験は、今後、飛行機で訪れる個人旅行者が多くなるので、それらの経験は、まち全体のおもてなしという観点から、一定の効果があったと考える。

観光というのは、相当大きな産業になっていくと言われている。

これから、ものづくり等持てる強みをいかに発揮することと併せて、北九州に良い食材が数多くあり、産業観光や景色など良いものがあることから、観光インバウンドについても精一杯の帆を広げて風を受けて、そこでチャンスをつかんでいきたいと考えている。

また、健康診断等の医療分野については、医療保険制度をどう運用するかという問題に関わってくるが、外国人の富裕層などを、もっと呼べる余地はないか研究している。

**Q. 質問・意見**

北九州市には恵まれた野菜、新鮮な魚などが数多く存在する。これらの食材を北九州市の学校給食にどの程度取り入れているのか教えていただきたい。

「ふれあい昼食交流会」を実施しており、以前は市長が参加することがあった。再び「ふれあい昼食交流会」に参加いただきたい。

**A. 市長等の回答**

学校給食における地産地消の推進については、実際に若松潮風キャベツなどを使用したりしている。ただ、推進にあたっては区域分けを行うなどしているが、かなりの量が一度に必要となることから賄いきれないところがある。

今後も継続的に努力していくとともに、教育委員会にもこの内容を伝える。「ふれあい昼食交流会」につきましては、出席する。

**Q. 質問・意見**

講演内容の中で、認知症による行方不明者を捜す捜索模擬訓練を北九州市内で実施していると説明があったが、高須地区でも今度の日曜日に行方不明者を捜す模擬訓練を実施することをこの場で報告する。

**A. 市長等の回答**

捜索模擬訓練の開催については立派な試みであり、心から敬意を表す。当日は、若松区役所から保健師等も参加し、一緒に活動する予定である。